



株式会社リビック様に対する 『114 サステナブルベーシックローン』の実施について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は2026年9月30日（水）、東大阪支店取引先 株式会社リビック（大阪府東大阪市 代表取締役 東久保 誠）に対し『114 サステナブルベーシックローン（※1）』を実施しましたのでお知らせします。

今回、株式会社リビックは、『売上高当たりの電力使用量の削減率』を SPTs（※2）に決めました。当行はお客さまの企業戦略に即した SPTs の達成状況に応じて貸出金利を優遇することで、目標達成に向けた動機付けを行い、サステナブル経営を後押しします。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまの SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

（※1）環境・社会課題の解決に資する取組みを、自社の実績を基準に目標値を設定し、達成状況に応じて貸出金利を優遇する当行独自のローン商品。第三者評価機関からのセカンドオピニオン取得が必要となる、サステナビリティ・リンク・ローンに比べ、多くの企業が取り組みやすい設定としている。

（※2）Sustainability Performance Targets（環境や社会課題に対しポジティブな影響をもたらす企業目標）

記

1. 企業の概要

会 社 名 株式会社リビック
所 在 地 大阪府東大阪市長田中 2-2-36
業 種 卸売業（理美容業界向けの材料・設備品）他

【サステナブルな取組み】

当社は、1910 年の創業以来、理美容業界向けの材料・設備品の卸販売を中心に、OEM 事業（※3）や製品開発など幅広い事業を展開しております。商社機能・製造部門・メーカー部門を併せ持つ理美容の総合商社として、「人の美しさ」「美の喜び」を提供する商品の開発・提案・販売に取り組んでまいりました。時代の変化に対応しながら、長年培ってきた知識・ノウハウ・技術を生かし、新たな価値の創出に向けた挑戦を続けてまいります。

今回、『売上高当たりの電力使用量の削減率』を SPTs に設定し、環境負荷の低減とサステナブルな事業発展をめざしてまいります。



（※3）OEM（Original Equipment Manufacturer）事業とは、他社ブランドの製品を自社が製造・供給する事業形態

2. SPTs について

売上高当たりの電力使用量の削減率

以上